

# 雑色杉本遺跡

(笹下中央公園)

大岡川の支流、笹下川西岸の丘陵状の台地にある雑色杉本遺跡は、縄文時代から古墳時代にわたる遺跡として、古くから知られています。

平成元年、同3年、同7年の三次にわたり、都市計画道路環状2号線建設に伴い遺跡の発掘調査が行われた。

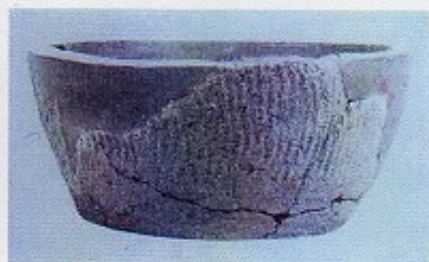
結果、緑辺部にあたる場所に、縄文時代早期の土坑（落とし穴）や遺物包含層などが発見されています。

この公園のある場所は台地の一番標高の高い位置にあり、遺跡の中心部となっております。

縄文時代～古墳時代にかけての住居跡も確認されており、この時期の集落が台地上に広く存在する事が想定されます。

区内の数少ない遺跡の一つで、公園下には現在遺跡がそのまま保存されています。

又、この周辺は中世の「笹下城跡」があったとされていますが、現在までの発掘調査の結果では関連付けるものは確認されておりません。



竪穴住居址

出土遺物

竪穴住居



現在の中央公園